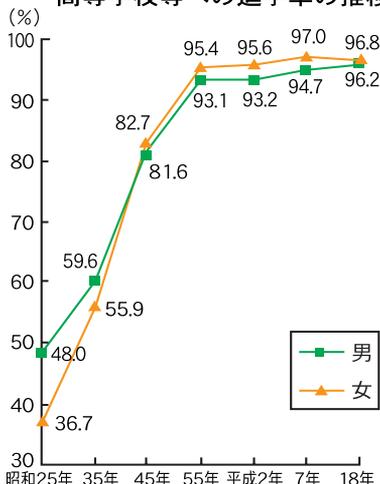


# ひとひと 女と男 パートナーシップ

企画課 男女共同参画推進係 ☎72-2111(内線222)

## ●高校への進学率は？

高等学校等への進学率の推移



※文部科学省「学校基本調査」より作成  
※高等学校の通信制課程への進学者を含まない

平成18年3月に卒業した中学生の高等学校への進学率は、男女とも96%を超えて多くが高等学校に進学をしています。以前はどうだったのでしょうか？昭和25年の進学率は男子48.0%、女子36.7%と現在の半数以下で、女子の進学率は男子に比べて約11ポイントも低かったのです。その後、男女とも進学率は上昇し昭和40年代前半には70%を越え、性別による差もほとんどなくなりました。

職業選択など将来の方向付けともなる大学の専攻には、男女で違いが見られます。最も多いのは、男女とも法学や経済学などの社会科学分野ですが、次に多いのは、男性が工学、人文科学、女性が人文科学、その他の保健(薬学、看護学など)となっています。男女とも上位2つが過半数を占めています。特に男性は、社会科学専攻が5分2以上と突出しています。

また、家政、芸術分野に男性は少なく、工学、理学分野に女性が少ないなど、専攻分野には、男性は理系、女性は文系、という意識が現れているようです。

## 男女で異なる専攻分野

4月を迎え、「ご家族や身近な人が、高校や大学への進学など新しい生活を始めた、という方も多いのではないだろうか。」

平成18年度の大学進学者数は約60万人。昭和50年の約40万人から30年余りで約1.5倍に増えています。大学進学率は、男性52.1%、女性38.5%と、性別によって差がありますが、女性の進学率は年々増えています。女性の大学進学が増える一方で、短期大学進学率は減少傾向にあります。

## 大学等への進学

各専攻分野の男女比(平成18年度)

専攻分野	男性 (%)	女性 (%)
総数	59.6%	40.4%
人文科学	33.4%	66.6%
社会科学	68.8%	31.2%
理学	74.7%	25.3%
工学	89.5%	10.5%
農学	60.2%	39.8%
医学・歯学	66.1%	33.9%
その他の保健	33.4%	66.6%
家政	9.4%	90.6%
教育	39.9%	60.1%
芸術	30.5%	69.5%
その他	52.9%	47.1%

※文部科学省「学校基本調査」より作成

## 科学技術の分野での女性の活躍を

高学歴化が進み、女性の大学院進学も増えています。欧米主要国に比べると女性の研究者は少数です。知的財産の創出や国際競争力の向上等のためにも男女の研究者が働きやすい環境をつくり、女性も研究者として活躍することが期待されています。また、理工系分野の人材育成として、女子高校生にも理工系に関心を持ってもらうための取り組みなどが進められています。

## 輝こう！あなたも私も新しい一歩で

3月4日(日)、生涯学習センターで、おごおり女性協議会主催の「おごおりフォーラム」が開催されました。講師は苅田町町長の吉廣啓子さん。子どもの頃から男女のきょうだいを分け隔てなく育ててくれたご両親の話や町長になるまでのことなど聴く人を引き付けるお話しぶりであっという間に時間が過ぎました。「女性のパワーが私を町長に押し上げた」と語られた吉廣さん。何事にも前向きな姿に会場の皆さんもパワーをもらったのではないのでしょうか。



## DV被害者のために私たちができることは？

### 3/1 男女共同参画セミナー「ドメスティック・バイオレンス」

講師にNPO法人女性エンパワーメントセンター福岡代表の松崎百合子さんを迎え、ビデオ視聴、グループワークを交えて、ドメスティック・バイオレンスや被害者支援について考えました。相談やシェルター運営など被害者支援に関わる松崎さんのお話はわかりやすく、好評でした。

